



右より
寺田 英幸 議員
竹内 基二 議員
竹内 照夫 議員
近藤 眞弘 議員
川口 正徳 議員
草野 聖地 議員

幹事長
近藤 眞弘

今後とも湖誠会並びに会派所属議員に対し、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新春の候、市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は、湖誠会に對しまして、温かいご支援とご厚情を賜り、心より感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないうち、2月24日に始まったロシアによるウクライナへの侵攻は、世界中に強い衝撃を与えました。侵攻による影響は瞬く間に世界中に広がり、わが国においても例外ではなく、私たちの生活

では食料品、電力、ガス等の価格高騰により家計に大きな影響を与えている状況です。

そのような状況の中、昨年の11月通常会議では、補正予算や条例の改定など43議案を審査し、補正予算では新型コロナウイルス感染症対策経費や物価高騰対策経費、自然災害への備えに要する事業費など23億5千万円余りについて可決いたしました。

大津市議会は本年4月に4年の議員任期満了を迎えるため、湖誠会では、市民の皆様からいただいたご要望については、今年度中に

ごあいさつ



湖誠会は、地域の皆様のお声を大切に大津の将来を創造します

① 草野 聖地 政調会長



どのような状況にあっても、子供たちの声が聞こえ、笑顔が見られれば、地域が元気になります。そして、それが未来につながります。地域の元気のためにできることを考え、最善を尽くしてまいりますので、会派へのご支援をよろしくお願いいたします。あたらしい生活様式を楽しめるように、ともに歩んでいきましょう。

② 竹内 照夫 【Otsu Re Born】



コロナ禍の下で、私たちの身近な暮らしも大きく変わりました。そんな時代だからこそ、「優しい心」「厳しい心」「ときめく心」「豊かな心」を忘れず、「大津に心をとりもどしたい」と思います。そして今年も、市民の皆様とともに、大津を生まれ変わらせるために全力を尽くしてまいります。

③ 竹内 基二



お年寄りや子どもたちを守るために、交通安全施設や教育施設の整備改善を進めます。コロナ対応の医療従事者をお支えし、不況に苦しむ商店街や中小企業者への支援を一層充実させます。健康と安全を守るため、子育てや高齢者の健康相談、災害対応策を拡充します。体育文化活動を支援し、子どもたちの夢を育てられるような政策提案をしてまいります。

④ 近藤 眞弘 幹事長



新型コロナウイルス感染症の長期化や世界情勢の変化に伴い、私たちの生活は厳しさを増しています。市政においても課題は山積していますが、子どもから高齢者の方まで大津市に住んで良かったと実感していただけるまちづくりを目指します。「安全で安心して暮らせる大津づくり、活気となごみのある地域づくり」に全力で取り組みます。

⑤ 寺田 英幸 幹事(会計)



【現場の声が市政に伝わる「かけ橋」】
Withコロナの今、そしてAfterコロナ時代の新しい生活様式に順応しながら、大津市民、地元住民の声が市政に伝わる「かけ橋」役として、「利他に尽くす」政治をしてまいります。

⑥ 川口 正徳 副幹事長



まち作りの主役は市民の皆様です。未だ収束の気配がない感染症等の対応に市民の皆様も大変ご苦労いただいていると思います。一日も早く平穏な日常を取り戻し、住み慣れた地域において安心して暮らせるよう、負託を受けた者として、大津市とともに責務を果たして参ります。



11月通常会議一般質問

質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。※質問順に掲載しています。



草野 聖地 議員

インターネットのSNSを活用した
プロモーションとイベント開催について

Q 広告メディアの優位性が変化する中、SNSで活躍する、地域のことをよく知るローカルインフルエンサーを活用したプロモーションの実施について、また、インターネットと連動した地方創生イベント実施の検討について見解を伺う。

A これまで、他地域からブロガーなどを招いていたが、今後は、地元のことをよく知る、ローカルインフルエンサーの活用についても検討する。また、官民が連携し、地域資源を生かしたイベントを実施することは、観光誘客のみならず情報発信の点からも有効であると認識しており、費用対効果も踏まえながら事業の内容などについて研究する。



竹内 基二 議員

公園樹木の植え替えなどへの市としての協力・支援について

Q 整備後30年近く経つ公園などの樹木は、経年の影響などによる倒木の恐れを見据え、適切に対応する必要がある。膳所城跡公園では、桜の木を毎年数本ずつ植え替えておられると聞いており、こうした努力に敬意を表するものであり、是非その範囲を広げていただくため、市民活動による樹木の植え替えなどに対し、市としてもできる限り支援や協力をすべきと考えるが市の見解は。

A 現在、緑化推進事業で身近な緑づくりの支援として苗木を配布し、自治会などの協力により公園などに植樹を行っている。この取り組みは、緑化施策を推進していく上で大きな役割を果たしており、安らぎと憩いの場の形成にも寄与していることから、今後とも継続していきたい。

※他に1項目の質問あり。



竹内 照夫 議員

膳所駅南側駅前広場整備に係る今後の見通しについて

Q 膳所駅南側駅前広場の整備は、まちのにぎわい創出のための中心的機能を担う重要な都市施設として、早期の事業推進が望まれている。事業推進に当たって、周辺土地所有者の意向に沿ってどのような検討を行い、いかなる手法をもって整備を進めていこうと考えておられるのか、今後の見通しは。

A 周辺土地所有者は、南側駅前広場との一体的なまちづくりに一定前向きな意向を示されているところであり、今後は、社会情勢の変化や周辺土地所有者の意向をしっかりと踏まえながら、市としても将来を見据えた駅前広場の機能やあり方、面積規模や課題など、幅広い検証を行うとともに、民間活力の導入等を考慮しつつ事業手法の検討を進めていきたい。

※他に1項目の質問あり。



近藤 真弘 議員

小中学校における不登校対策について

Q コロナ禍の影響などもあり不登校の児童生徒が増加している現状に対する教育委員会の対策及び小中学校への指導状況と、各校での対応について伺う。

A 教育支援センターにおいてスクールカウンセラーを派遣するとともに、公認心理士等による教育相談や、市内4カ所の教育支援ルーム「ウイング」で学校復帰や社会的自立を目指すなど、不登校児童生徒や家庭に寄り添った支援をしている。小中学校に対しては、不登校が長期化しないよう、早期対応や支援が途切れないよう指導しており、各校では、定期的な家庭訪問、別室登校や放課後登校への支援、タブレット端末を活用した家庭学習支援や「ウイング」の利用など、一人一人の状況に応じた適切な支援を行っている。

※他に3項目の質問あり。



寺田 英幸 議員

予算編成に係る情報発信のあり方について

Q 予算編成や予算概要の情報発信にあたっては、チャート図などを用いた親しみやすい編集、税金の使い道や本市の財政状況などの基本的な情報の市民目線に立った発信、市民からの意見を集約・検証し、より一層「伝わる」ものにしていくことなどが必要と考えるが、市の見解を伺う。

A 現在、当初予算については広報おおつや市のホームページで公表していますが、今後、専門用語の表現にできるだけ平易な言葉を用いるなどわかりやすく示せるよう努めていく。

より「伝わる」情報発信となるよう、市民からの意見の反映に努めるとともに他市の事例を調査し、市民にわかりやすい情報を提供する視点から情報発信のあり方を研究していく。

※他に3項目の質問あり。



川口 正徳 議員

今議会一般質問期間において、はからずも感染症に罹患し、自宅療養を余儀なくされ、登壇することができませんでした。

主な質問事項としては、小中学校におけるタブレット端末の破損時における対応や、各家庭での通信環境の整備状況を確認するとともに活用状況について。また、過日田上地域において開催された、大津市総合防災訓練について、参加された方々のご意見等を踏まえ、今後の防災訓練に生かしていただくべく課題等について質す予定でした。

日頃より感染症対策には気を付けていたつもりでありましたが、罹患し責務を果たせなかったことについておわび申し上げます。



▲石山寺

そこで、大津市は、官民一体となって、大河ドラマを活用したプロモーションを行うための協議会を設立しました。令和4年度11月補正予算では、その協議会への負担金が措置されました。実際の放送は2024年1月からの予定ですが、来年度早々から、プロモーションの企画に着手し、秋以降の実施をするための措置となります。

放送までには時間がありますが、この機会に、1000年を超えてのベストセラー『源氏物語』に、あらためてふれてみてはいかがでしょうか。

2024年NHK大河ドラマ「光る君へ」制作決定 主人公は、『源氏物語』を石山寺で執筆した紫式部

「光る君へ」は、世界最古の女性文学といわれる『源氏物語』を生み出した、紫式部の人生を描き、懸命に生きて書いて愛した女性の一生に挑戦する大河ドラマです。その執筆活動を石山寺で行ったとされることから、ドラマの舞台としても取り上げられ、大津市への注目が高まることが期待されます。



▲「光る君へ」活用推進協議会設立